

事業所名

ウィズ・ユース東小平井

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和

8年

2月

15日

法人（事業所）理念		One step forward ～一歩ずつ、確かに～		
支援方針		一、利用者様、ご家庭、地域の課題に真摯に向かい合い、ニーズに合わせたサービスを提供します。 二、利用者様、ご家庭のご状況に合わせ、最適な環境の事業所をご案内しお過ごしいただきます。☒ 三、利用者様の将来につながるように、長期的な視点で支援を行います。		
営業時間		11 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	お迎え時にご家族の方や学校の職員から様子を伺い、健康・生活面での状況を確認します。 普段からの様子をしっかりと見て小さな変化を読み取り、環境づくりや声掛けに工夫をし健康状態の維持や改善につなげます。 新しい環境にスムーズに移行し、生活のリズムが整い、健康的な生活を送れるように事前準備や必要な助言を行います。		
	運動・感覚	学習支援時の決められた時間は、正しく座位を保ちながら学習に取り組めるように声掛けします。 また工作などで指先の感覚を養い感覚統合ができるよう取り組みます。 室内ではトランポリンやバランスボール、ボルダリングなどの遊びを通して運動能力の向上、姿勢保持に必要な体幹を付けます。 屋外では歩く、走る、しゃがむなどの日常生活に必要な運動を行います。		
	認知・行動	来所時にその日のタイムスケジュールを表など使って説明し、1日の流れを把握します。 イベント活動での工作やクッキングで物の変化や感覚を認知します。 季節の変化を認知できるよう、日ごろからお外遊びの時間を作ります。		
	言語コミュニケーション	他人と正しいコミュニケーションが取れるよう間に入って支援します。 言語を通してのコミュニケーションが難しい場合は、ご利用者様の特性に合わせて絵カードなどを使って対応します。 お口の体操などの療育トレーニングを取り入れ、活舌の練習をします。		
	人間関係社会性	アットホームな施設の作りを利用し、安心して来所できる居場所を作ります。 おもちゃの貸し借りや順番を守って遊べるよう支援します。 個人に合わせた学習プリントに取り組み、自身のできることを把握します。		
家族支援	ご家族とお話をする機会を作り、ご家庭で困っていること等が改善するようにサポートします。施設とご家庭での様子を共有し、困っていることや改善点等があれば、ご家族と一緒に考えたり実践し、目標が達成出来るよう支援します。 ご家族への情報共有として定期的な面談の実施や、セミナー等開いて必要な情報をご提供します。	移行支援	子どもの特性等を踏まえた一貫した支援を行うため、移行先との支援内容等についての情報共有や擦り合わせを行うなどの取り組みをしていきます。	
地域支援・地域連携	地域の定例会議に参加し、地域の課題の共有と解決に努めています。 連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議します。 各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。	職員の質の向上	毎日の朝礼時にスモールステップの研修の実施しています。 終礼を実施し、日々の児童の様子を共有することで統一した支援を行います。 経験、職種、等級に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会をつくっていきます。	
主な行事等	長期休暇や祝日は季節に合わせたイベントや工作、クッキング、お出かけをします。 保護者様が交流を持てるように保護者会の実施。講師を招いてセミナー等を実施しています。			